～しゃきょうのたまちゃんがお伝えする東大和のボランティア情報紙～

たまボラ

2025 3月号 VOL. 51

東大和ボランティア・市民活動センター
発行：東大和市社会福祉協議会
所在地：東大和市中央3-912-3
電　話：042-564-0012（代表）
ＦＡＸ：042-564-3680

P．1 ボランティア・市民活動センターの紹介
P．2 ボランティア講座のお知らせ
P．3 ボランティア運営委員訪問録
P．4 ぼらセンからのお知らせ・ボランティア募集ほか





こんにちは！東大和ボランティア・市民活動センターです☆



東大和ボランティア・市民活動センターはボランティアに関する相談をお受けしているほか、市内小学校からの依頼を受け、福祉教育を実施しています。また、ボランティア講座、夏！体験ボランティア等の講座や６５歳以上の方が介護予防を目的として行っている介護支援いきいき活動など様々な事業も展開しています。

東大和ボランティア・市民活動センターの窓口は、東大和市社会福祉協議会の中にあります。ボランティアを依頼したい、ボランティア・市民活動に興味がある、ボランティア活動について学びたい、災害時のボランティアについて知りたい、こんな時は、お気軽にご相談ください。

ボランティアグループ「SAYAMA　LAKESIDE　BAND」（旧称：狭山グランドオーケストラ）の皆さん



♪第１４回オータムフェスティバルでの演奏の様子♪



♪YouTubeで活動の様子を掲載しています♪

令和６年度ボランティア講座参加者募集中！

東大和ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動に関心がある方、ボランティア活動を始めてみたい方におすすめの講座を開催します。

ボランティアの基本的な学習や、実際に活動も体験できるプログラムです。この機会に参加しませんか！！

基本編　「ボランティアを始めよう！福祉について学ぼう」

〈会場：社会福祉協議会〉
・ボランティアの基本について
・車いす体験
〈定員：２０名〉
日時：令和７年３月１１日（火）
１４：００～１６：００



車いす体験の様子



被災地での活動の様子

災害編　「能登半島地震のボランティア経験談から災害ボランティアについて考えよう！」

〈会場：社会福祉協議会〉
・被災地での活動についての講話等
〈定員：２０名〉
日時：令和７年３月１９日（水）
１３：３０～１５：３０

施設編　「施設でのボランティア体験をしよう！」

〈会場：特別養護老人ホームやまと苑〉
・施設見学
・施設でのシーツ交換
・高齢者福祉についての講話
①高齢者との関わり方
②ボランティアが施設で活動する意義
〈定員：３名〉
日時：令和７年３月２３日（日）
９：３０～１２：００



シーツ交換の様子



申込み（応募多数の場合抽選）
基本編：令和７年３月　７日（金）
災害編：令和７年３月１４日（金）
施設編：令和７年３月２１日（金）
までに電話または申込みフォームから！

お問合せ　東大和ボランティア・市民活動センター
東大和市中央３－９１２－３
電話番号：０４２－５６４－００３５

み～つけた！
こんなところ
あんな活動

～ボラセン委員訪問録～

ボラセン委員訪問録は、東大和ボランティア・市民活動センター運営委員が、市内で活躍されているボランティアグループやサロン活動、施設等を取材し紹介しています。

今回は合同会社「ボアソルチ」の代表である田中海之（たなかかいし）様にお話を伺いました。



左　：ボアソルチ代表
　　田中海之氏
中央：田村委員
右　：後藤委員



ひとりぐらし
体験室の写真



ボアソルチ
事業所の様子

「合同会社ボアソルチ」設立のきっかけ、事業の説明

田中さんは、東大和市社会福祉協議会の精神障害者地域生活支援センター「ウエルカム」で働いていました。精神障害のある方へ支援をしている中で「市内の方に限らず誰も断らない支援をしたい」と思い、独立して合同会社「ボアソルチ」を設立（令和元年１０月）しました。

「ボアソルチ」では、障害のある方に対して日常生活の援助を行う「グループホーム」を運営しており、生活にかかわる様々な困りごとの相談を受けながら、将来的に地域でひとり暮らしができるように支援をしています。グループホームを利用される方は、お金のやりくりや食事、家族や友人、職場での悩みなどを「よりリアルなひとり暮らし」の環境で練習しています。

東大和ボランティア・市民活動センター
運営委員　後藤　匠

施設紹介

①相談支援事業所ポルト

指定特定計画相談支援事業所です。障害福祉サービスを利用する方に寄り添い、サービス等利用計画の作成を行います。

②暮らし体験事業（とびたち支援）

家族や病院から離れて自立生活の体験ができます。

③グループホームマアル（令和２年７月開所）とグループホームバルコ（令和７年３月開所）

精神障害のある方を対象とした滞在型グループホーム。どちらも独立したアパートタイプの居室です。

これまでグループホームは、各人の居室は個室であっても、トイレ、食堂、浴室は共同のところが多く、食事の時間や入浴の時間は決まっており、食事や服薬管理、入浴も職員の方が準備してくれる集団生活の場と認識していました。

今回、取材をして驚きました。これまでのイメージとは違い、１DKの部屋で、自分用の玄関・トイレ・浴室・小さなキッチンがあり、ひとり暮らしではあっても困った時には相談できるところが同じ建物内にありました。職員がいる時間帯は９時～１９時で、夜間等の緊急時は電話にて対応しているとのことでした。代表の田中さんは、このような家族や職場での人間関係での悩みなど、いつでも相談できる人の存在が必要とも話されていました。

自立を援助するには、親からとびたつには、家族ではない第三者がいつでも関わることができる環境こそが必要だと感じました。

東大和ボランティア・市民活動センター
運営委員　田村　美和子

【取材を終えて】

田中さんの「障害はまだ“特別なもの”という印象があるが、障害もその人の“クセ”くらい普通に受け入れられるようになればいい」という言葉が印象に残っています。田中さんの、誰もが一人の人間として地域で一緒に暮らしていける「共生社会」を目指している姿勢に感銘を受けました。

東大和ボランティア・市民活動センター運営委員　後藤　匠

ぼらセンからのお知らせ

ボランティア募集！

●ちょいボランティアを募集します！

短い時間で簡単に気軽にできる「ちょいボランティア」をしませんか？

例えば高齢者宅の電球交換、ゴミ出しのお手伝いなど、ちょっとした困りごとのお手伝いをしていただけるボランティアを募集します。

【日　時】適宜相談
【場　所】依頼者宅等
【問合せ】東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：０４２－５６４－００３５



●地域の居場所活動等でのボランティアを募集します！

【主 催 者】ささえあい♡清原・新堀
（東大和市第２層協議体）
包丁研ぎや地域喫茶などの居場所
【依頼内容】（複数人で対応）
活動の準備と後片づけ／包丁研ぎの受付
【活動日時】毎月第１月曜日
１２：００～１６：００
（準備、後片付け等含む）
【活動場所】東京街道団地南集会所（清原３－１）
【応募・問合せ】
ほっと支援センター　きよはら
０４２－５９０－１１３８
（生活支援コーディネーター宛）
※以下のチラシをご参照ください。



●見守り・声かけ活動の協力員を募集します！

見守り・声かけ活動は、地域の方々がボランティアとして近隣の高齢者等のお宅へ伺い、声かけやさりげなく見守りを行う活動です。この活動に参加いただける方（協力員）を募集しています。身近なご近所で気軽に活動できます。関心のある方はお問合せください。

【活動場所】お住まいの地域近辺
【活動日等】月１～２回
（地域によって異なります）
※現在活動している協力員と一緒に活動していただきますので、安心して始められるボランティアです。
【問合せ】東大和市社会福祉協議会
TEL：０４２－５６４－００１２

個人登録とボランティアグループ登録のご案内！

東大和ボランティア・市民活動センターでは、個人ボランティアとボランティアグループの登録制度をとっています。登録をしていただいた方には、ボランティア情報の発信やセンターに相談があったボランティア活動を紹介させていただきます。また、ボランティアグループには助成金制度などがあります。登録は東大和ボランティア・市民活動センター（社会福祉協議会内）窓口にてお手続きください。東大和市でボランティア活動をしたい方はぜひご相談ください。

【問合せ】
東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：０４２－５６４－００３５





東大和のボランティア情報紙「たまボラ」をお読みいただきありがとうございます。今後とも東大和ボランティア・市民活動センターをよろしくお願いいたします！



【紙面に関する問合せ】
東大和ボランティア・市民活動センター
TEL：０４２－５６４－００３５
FAX：０４２－５６４－３６８０